

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 16 年 11 月 18 日 (2004.11.18)

【公表番号】特表 2000-504172 (P2000-504172A)

【公表日】平成 12 年 4 月 4 日 (2000.4.4)

【出願番号】特願平 9-527556

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 B 3/23

H 0 4 Q 1/444

【F I】

H 0 4 B 3/23

H 0 4 Q 1/444

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 1 月 28 日 (2004.1.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書



平成16年1月28日

特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第527556号

2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名 称 テレフオンアクチーボラゲツト エル エム エリクソン
(パブル)

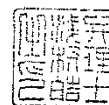
3. 代 理 人

居 所 〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目2番1号

新 大 手 町 ビ ル デ ィ ング 3 3 1

電 話 (3 2 1 1) 3 6 5 1 (代 表)

氏 名 (6 6 6 9) 浅 村 皓



4. 補正対象書類名

請求の範囲



5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容 別紙のとおり

方 式 査 査



請求の範囲

1. 電話システムにおける反響消去装置の動作を制御するためのトーン検出器であつて、上記トーン検出器が、

入力信号の第1の電力推定量を決定するための手段と、

上記入力信号を同相成分と直交成分に分割するための手段と、

上記同相及び直交成分をサブサンプルするための手段と、

上記サブサンプルされた同相及び直交成分を用いて、第2の電力推定量を決定するための手段と、

上記第1及び第2の電力推定量を比較し、所定のトーンが存在するかどうかを決定するための手段と、

上記同相及び直交成分を用いて、上記所定のトーン内の位相反転を検出するための手段、

から構成されていることを特徴とするトーン検出器。

2. 請求の範囲第1項に記載のトーン検出器において、約155から205度の位相反転が、約420から480ミリ秒の間隔で、無効化トーン信号内に発生することを特徴とするトーン検出器。

3. 請求の範囲第1項に記載のトーン検出器において、上記所定のトーンが、約2100Hzであることを特徴とするトーン検出器。

4. 請求の範囲第1項に記載のトーン検出器において、上記所定のトーンが、2079から2121Hzの範囲内にあることを特徴とするトーン検出器。

5. 請求の範囲第1項に記載のトーン検出器において、上記位相反転を検出するための手段が、

上記位相推定量の高次導関数を決定するための手段と、

上記導関数を、-180、180度間の間隔内にある第1の値に変換するための手段と、

上記第1の値の絶対値をしきい値と比較し、位相反転の存在を決定するための手段、

から構成されていることを特徴とするトーン検出器。

6. 請求の範囲第5項に記載のトーン検出器において、上記高次導関数が二次

導関数であることを特徴とするトーン検出器。

7. 請求の範囲第5項に記載のトーン検出器において、上記しきい値が132.5度であることを特徴とするトーン検出器。

8. 電話システムにおける反響消去装置において無効化トーンを検出する方法であって、上記方法が、

入力信号の第1の電力推定量を決定するステップと、

上記入力信号を同相成分と直交成分に分割するステップと、

上記同相及び直交成分をサブサンプルするステップと、

上記サブサンプルされた同相及び直交成分を用いて、第2の電力推定量を決定するステップと、

上記第1及び第2の電力推定量を比較し、所定のトーンが存在するかどうかを決定するステップと、

上記同相及び直交成分を用いて、上記所定のトーン内の位相反転を検出するステップと、

から成ることを特徴とする無効化トーンの検出方法。

9. 請求の範囲第1項に記載の無効化トーンの検出方法において、約155から205度の位相反転が、約420から480ミリ秒の間隔で、無効化トーン信号内に発生することを特徴とする無効化トーンの検出方法。

10. 請求の範囲第1項に記載の無効化トーンの検出方法において、上記所定のトーンが、約2100Hzであることを特徴とする無効化トーンの検出方法。

11. 請求の範囲第1項に記載の無効化トーンの検出方法において、上記所定のトーンが、2079から2121Hzの範囲内にあることを特徴とする無効化トーンの検出方法。

12. 請求の範囲第1項に記載の無効化トーンの検出方法において、上記位相反転を検出するステップが、

上記位相推定量の高次導関数を決定するステップと、

上記導関数を、-180、180度間の間隔内にある第1の値に変換するステップと、

上記第1の値の絶対値をしきい値と比較し、位相反転の存在を決定するステッ

プと、

から成ることを特徴とする無効化トーンの検出方法。

13. 請求の範囲第5項に記載の無効化トーンの検出方法において、上記高次導関数が二次導関数であることを特徴とする無効化トーンの検出方法。

14. 請求の範囲第5項に記載の無効化トーンの検出方法において、上記しきい値が132.5度であることを特徴とする無効化トーンの検出方法。